

平成 26 年度 第 1 回学校協議会報告

平成 26 年 7 月 11 日 (金) 14:15~16:15 於：本校会議室

- 1 委員 箕面市教育委員、高槻市議会議員、近隣中学校長、学校薬剤師、
大阪市こども相談センター (スクールカウンセラー)、PTA 会長
- 2 事務局 校長、事務部長、教頭、首席、総務部長、グループ長 (系列長)
- 3 内容 (1)校長挨拶と学校の近況報告
 - ・校長室で生徒と昼食会を開始した
 - ・遅刻指導について
 - ・生活指導ルールの緩和を検討中
 - ・体育祭では生徒たちのきびきびした動きが見られ、遠足の欠席が減少
 - ・勝山高校の「学びの共同体」授業を視察
 - ・写真藝術部の活躍について(2)協議会会長の選出 学校薬剤師様
- (3)協議

4 おもな協議

(1) 平成 25 年度「学校経営計画・評価」、26 年度「学校経営計画」

学校の PR について多くの提案がありました。

- ・成城新聞 年間発行回数は (本年度 6 回予定)、町内での回覧してほしい
- ・地域の方が参加できる行事についても回覧板・掲示板等で広報が必要
- ・知名度が低い。駅から出て「成城高校どこですか」と聞いても、あまりご存じない
- ・商店街等への発信を検討しては。野菜の朝市、商業系列との連携、生徒にプレゼンさせる
- ・校舎の色、マーク、キャラクタ等イメージ、シンボリックなものが必要 制服も重要
- ・校舎の外観が綺麗か 懸垂幕も重要

(2) 生徒の学力定着と向上

- ・自主学習を多く取り入れる学校は学力が高い 自習用テーブルの整備 場所を作ると自習しやすい
- ・秋田県の授業スタイル (何をするか初めに伝えるのでわかりやすい。体育でもホワイトボード使用)
- ・研究授業の実施例 (学年別に他学年は休講にし、全教員が参加、ワークショップ形式で討議)
- ・小学生に新聞の 4 こま漫画を文章で表現させる→毎日するとできるようになる→1 年後学力あがる
- ・学習習慣をつける 繰り返しのトレーニングが大事
- ・授業の感想を書かせる ノート点検をするかしないかでも全然違う
- ・卒業生による進路を語る会を実施することで将来への展望を与える
- ・授業中に核になる子と視線を合わせ集中させると、周囲の子も集中する
- ・声掛け、子供の発言や日常生活の雑談を授業に発展させる。授業をみだす発言には厳格に対応。
- ・一本調子では飽きる。声の大きさ、速さに変化をつける
- ・支援学校の工夫 (見通しを書く、メリハリ、短時間ごとの休憩、あてる前に質問の予告をしておく)

(3) その他

- ・食生活が大事 食育についてのアンケートは実施しているが、結果を次回改めて報告してほしい
- ・次回は 10 月末~11 月に予定